事業所名	株式会社　大夢　　ばくのゆめ	支援プログラム（参考様式）児童発達支援	作成日	令和7 年　　6　月　　1　日

法人（事業所）理念		私たちは、「継続的な支援」「感謝の心」「思いやり」を大切にし、すべての人々が安心して暮らせる社会を実現することを目指しています。		
支援方針		子どもたちの自立を促進するとともに、放課後等の居場所づくりを推進します。 プレイルームでほっとした空間を提供し、ワクワクする期待感がいっぱい詰まった療育計画を立て、「生きる力」を身に付けていってもらえるように支援します。		
営業時間		平日　9：15　～　17：45　（休業日　年末年始）	送迎実施の有無	（あり）　なし
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	来所時、昼食後に体温測定を行い健康状態の確認 カバンなどの身支度、トイレでの排泄の定着、また衣服の着脱など基本的生活スキルの獲得 食への興味・関心が持てるよう昼食つくりやおやつクッキングを行い、季節の食べ物の認知、簡単な調理の体験をする		
	運動・感覚	サーキットやボールを使った粗大運動、トランポリンやバランスボール等の平衡感覚、工作など指先を使う微細運動などの運動遊び 音楽に合わせて身体を動かすリズム遊びやダンス、音楽療法 嗅覚・味覚を使った感覚遊び、スライムや新聞紙、風船に触れる感触遊びを通して五感を楽しむ		
	認知・行動	始まりの会での日付・時間・天気の把握と確認 ブロックやパズル、キャッチボール遊びによる空間の把握と認知 感覚や認知の偏りなど個々の特性への配慮を行い、スタッフが見本となる行動をとることで適切な行動を知る		
	言語 コミュニケーション	始まりの会・終わりの会で返事をする、発表する、話を聞く等のコミュニケーション能力の向上 様々な表情、動作、発声の仕方などで自分の気持ちを表現できるようにしていく 個々の児童の発達段階に合った言葉を用いて声掛けを行い、必要に応じてイラストやジェスチャーなどの非言語的コミュニケーションを用いて相互理解をはかる		
	人間関係 社会性	遊びや集団活動を通してルールを理解する力や言葉の理解、他者との協調性を養う 買い物やお出かけに行き、車内でのルールを学び自然に触れる機会を設ける 地域イベントや子ども食堂へ参加し交流の機会を設ける スタッフやお友達と遊ぶ中で感情コントロールや他者との適切な距離感、関わり方の経験を積む		
家族支援		送迎時や連絡帳を通して情報共有を行う 児童の発達についてや保護者の困りごと、きょうだい児に対する相談援助 子どもの気持ちに寄り添い家族やお友達と信頼関係を築けるように支援する	移行支援	地域社会に参加しやすい環境を整え、イベント等を通して交流を図る 学校や他事業所と連携を取り支援内容などの情報を共有する
地域支援・地域連携		事業所内での過ごした様子や出来事について保護者や各関係機関とも 情報共有を行う	職員の質の向上	事業所内の職員研修
主な行事等		各季節ごとのイベント(夏祭り、クリスマス会、お楽しみ会等)、クッキング、外出イベント、避難訓練		